高等学校 令和７年度　　教科　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

使用教科書：（『高等学校　言語文化　』（第一学習社）　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】的確に理解したものを適切に表現する力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら言葉の価値を認識するとともに、読書に親しむことで自己の向上を図る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「児のそら寝」（『宇治拾遺物語』） 【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ、おもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話の展開を的確に捉え、ものの見方や考え方を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わう。	指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材‥児のそら寝	【知識及び技能】 ・言語文化の理解、語句・語彙の習得。 ・古文のきまりや特有の表現を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に慣れ、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	「絵仏師良秀」（『宇治拾遺物語』） 【知識及び技能】 ・動詞の活用や活用形を習得。 ・係り結びを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ、古文の人物造形のおもしろさを読み取る。 ・絵仏師良秀と世間の人のものの見方･感じ方･考え方の違いを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・良秀の価値観を理解・共感できるかについて話し合う。	指導事項 ・前単元で身につけた歴史的仮名遣いへの留意を意識しながら、滑らかに音読する。 ・動詞の活用と活用形を理解する。 ・係り結びを理解する。 ・出来事に対する良秀と町の人の考え方を対照し、良秀の価値観を整理する。 ・教材‥児のそら寝	【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いや音読の習得。 ・動詞の活用・活用形を理解し、本文中の動詞について活用の種類と活用形を指摘できる。併せて係り結びを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に描かれている出来事を適切に把握している。 ・良秀と町の人の価値観の違いを対照して考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・良秀の価値観から自分の考えを広げる。	○	○	○	6
	定期考査						1
	「なよ竹のかぐや姫」（『竹取物語』） 【知識及び技能】 ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の世界観に慣れ、現代まで継承されたことを理解する。 ・作り物語に表れているものの見方や考え方を捉えて解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に親しみ、伝奇性や心情描写の特色を捉える。	指導事項 ・歴史的仮名遣いや音便に留意しながら音読する。 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・形容詞、形容動詞の活用について理解し、本文中から指摘する。 ・教材…なよ竹のかぐや姫	【知識及び技能】 ・我が国の特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにしている。 ・形容詞・形容動詞の活用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	○	○	○	6

	「東下り」（『伊勢物語』） 【知識及び技能】 ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌が果たす役割を押さえ、歌物語の特徴を理解する。 ・歌物語の展開を的確に捉え、解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を捉える。	指導事項 ・話の中で和歌が果たす役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・主人公一行の旅の過程と心情の変化を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について復習をし、理解を深める。 ・教材…伊勢物語	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、語句や語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにしている。 ・用言の活用や古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語の中での和歌の役割や特徴から、読み解き方を理解している。 ・旅の過程や心情の変化、場面ごとに詠まれている和歌の内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1
	「訓読に親しむ」 【知識及び技能】 ・漢文を読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・訓読の基礎知識として返り点や助字のはたらきと意味を習得。 【学びに向かう力、人間性等】 ・見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	指導事項 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・同様に漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解し、滑らかに音読する。 ・教材　訓読に親しむ漢文を読むために	【知識及び技能】 ・漢文の世界に親しむために、必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	○	○	○	6
	「春はあけぼの」「はしたなきもの」（『枕草子』） 【知識及び技能】 ・随筆から、当時の生活感覚や興味の対象、考え方を理解する。 ・文語のきまりとして助動詞について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自然や人事を受け止め把握し、「をかし」「あはれなり」「はしたなし」の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然や人事を受け止める感覚を豊かにし、観察眼を高める。	指導事項 ・対象に向ける作者の目や意識を理解させ、ものの見方や考え方を豊かにする視点を養う。 ・筆者の感性について共感できるもの、自分の感性とは異なるものについて話し合う。 ・助動詞の意味、活用、接続について学び理解する。	【知識及び技能】 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりとして助動詞について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に記された自然や人事を受け止め把握するとともに、「をかし」「あはれなり」「はしたなし」といった情意を表す言葉について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然や人事を受け止める感覚を豊かにし、自らの観察眼を高めようとしている。	○	○	○	8
	「門出」（『土佐日記』） 【知識及び技能】 ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりとして助動詞について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記文学の中でも記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ・展開を的確に捉え、ものの見方や考え方をに触れ、解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・虚構性の高い日記から執筆意図など積極的に考えを深める。	指導事項 ・日本最古の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 ・助動詞の意味、活用、接続について学び理解する。 ・教材…土佐日記	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙を理解し、語感を磨く。 ・古典を読むために必要な文語や助動詞について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国最初の日記文学を読み、表現方法と執筆意図を読み解いている。 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容理解や展開を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	○	○	○	6
	「漁父之利」「狐借虎威」（故事成語） 【知識及び技能】 ・訓読に注意した音読や書き下し文を学習する。 ・漢文由来の言葉を知り、故事成語に対する知識を広げる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・辞典等の利用した口語訳から、全体の内容を把握・理解する。 ・登場する動物等との対応関係を考え、当時、策士が何を伝えようとしたのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来について知り、言葉に対する認識を深める。	指導事項 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　狐借虎威	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1

2学期	「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」（『徒然草』） 【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・古典読解に必要な助動詞について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思索的な随筆から、批評的精神を読み解く。 ・随筆から内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者の批評・教訓・感動などを読み取り、伝え合う。	指導事項 ・作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・教材…徒然草 ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文語や古典特有の表現の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・思索的な随筆を読み、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	「先従隗始」（『十八史略』） 【知識及び技能】 ・国内外の文化･関係を理解する。 ・古典に親しみ、訓読のきまり、古典特有の表現を理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、論理の巧みさを読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・史伝の特徴を理解し、たとえ話の展開や論理を説明する。	指導事項 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・戦国時代を背景とした国の状況を知り、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・作品の由来と現代の意味の違いを知り、古典と現代の言葉のつながりを理解する。 ・教材　先従隗始（十八史略）	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係を理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話から論理を説明しようとしている。	○	○	○	5
	『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 【知識及び技能】 ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・枕詞や序詞などの表現技法とその効果について理解する。 ・言語文化の特質や古典読解に必要な文語、表現の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解する。 ・和歌の内容や展開を的確に捉え、ものの見方や考え方に触れ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・修辞技法等の学習の見通しを持ち、和歌文芸の特徴を捉える。	指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解する。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・主として枕詞や序詞などの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 ・教材　万葉集　古今和歌集　新古今和歌集	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・枕詞や序詞などの言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解している。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1
	「その子二十」 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現技法や効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、短歌に親しむ。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材…その子二十	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	6

	「祇園精舎」「木曽の最期」（『平家物語』） 【知識及び技能】 ・語句・語彙の文化的背景を理解し語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典読解に必要な敬語について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・軍記物語から、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉る。また、この作品に表れているものの見方や考え方を踏まえて解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・無常観を読み取り、自分の考えを広げ、深める。	指導事項 ・軍記物語を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・教材…平家物語	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりとして敬語について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・軍記物語を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	8
	「漢詩」 【知識及び技能】 ・文化的歴史的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・ものの見方や考え方に触れ、解釈する方法を学ぶ。 ・詩の構成、対句などの表現技法が、作品世界を豊かにする効果について確認をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古代中国の人々の自然や人事への思いを読み取り、時代や国を超えて通じ合う感性を豊かにする。	指導事項 ・詩の構成、対句、押韻といった漢詩のきまりを理解し、作品世界の広がりを把握する。 ・作品や作者が持つ背景を知り、それをふまえて鑑賞する。 ・古代中国の人々の思いと現代日本に生きる我々の感性の異同について話し合う。 ・教材…漢詩	【知識及び技能】 ・文化的歴史的背景を理解している。 ・漢詩のきまりを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・作品にに表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 ・詩の構成、対句といった表現技法が作品世界を豊かにするものとして効果を上げていることを確認している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古代中国の思想を読み取り、時代や国を超えて通じ合う感性を豊かにし、その内容について話し合いを深めている。	○	○	○	8
3学期	「旅立ち」（『奥の細道』） 【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・特徴的な表現の技法とその俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉えて内容を解釈し、効果について理解する。 ・古典読解に必要な文語や古典特有の表現、時間の経過による言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・俳諧紀行文から、散文と句の関係を理解し、作者の思想や心情を捉える。 ・俳諧紀行文の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。また、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和漢の古典を取り入れてた作品を丁寧に読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深める。	指導事項 ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている作者の人生観や旅の意味と言った、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 ・教材…奥の細道	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉えている。 ・俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和漢を取り入れて成立した古典作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて積極的に解釈を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1
	人形浄瑠璃文楽－三業一体の技 【知識及び技能】 ・言語文化の特質、伝統芸能の歴史的・文化的背景について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調査した内容が効果的に伝わるよう、文章の構成、展開などの表現の仕方を工夫する。 ・伝統芸能に関する文章を読み、扱われている題材や内容、表現の技法など、興味を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉える。 ・伝統芸能について書かれた文章を読み、自分の考えを積極的に取り組む。	指導事項 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。 ・言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 ・教材…人形浄瑠璃文楽－三業一体の技	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質、伝統芸能の歴史的・文化的背景について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調査した内容が効果的に伝わるよう、文章の構成、展開などの表現の仕方を工夫している。 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、自分の考えを積極的に深めようとしている。				5
							合計
							105